

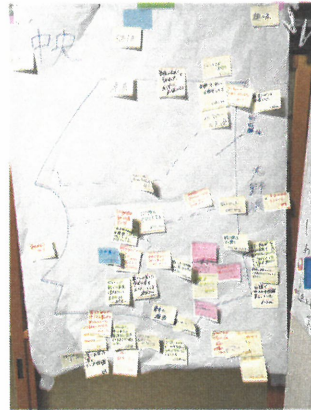
【事業名】景観からの地域づくり(景観点検)実施業務委託 ～陸前高田市広田地区～

町・町の景観への愛着を意図したコミュニティサイクル事業と魅力発見ワークショップの定期開催

受託者：特定非営利活動法人 SET
陸前高田市広田町字山田

【実施事項】

- ・電動自転車、中古自転車のまちづくり活動時の利用景観
- ・意識向上のワークショップの開催



自転車利用者12人のべ利用日数108日

ワークショップ参加者22人
2会場合計

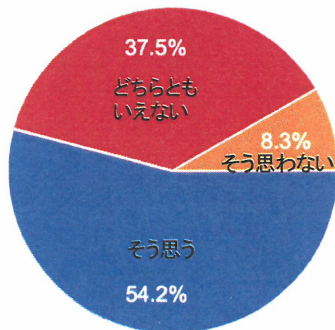


【評価】

自転車移動は**景観意識向上に有効**である。

特に、電動自転車を利用することで、景色を見る余裕ができること、楽しんで自転車利用することによる、景観意識のますますの向上。という傾向が見受けられた。

Q 立ち寄り目的地が増えたか



【取り組みのポイント】

- ・まちづくり活動に合わせて開催したこと（景観のためだけのワークショップだと住民も参加しづらい）
- ・自転車利用した学生メンバーの意識が高まっていたため、利用してない町の人とも良いディスカッションがなされていた

【今後に向けた課題】

自転車は消耗品であり、また乗り捨て自由（今回は無し）まで検討すると、管理する人員が必要である。人員確保さえできれば自転車の利便性は高まり、ますます多くの方が自転車利用に積極的になり、景観の意識向上につながるであろう。10～2月の実施であったため、春、夏、秋にかけてはより利用者にとって利用しやすい時期であることも見込まれる。